

## 編 集 後 記

本号の発行をもって今期(1996~1997年の二年間)の編集委員の任務を終了しました。次期は畠 洪氏(九州大学)を委員長とする編集委員会が担当することになります。

今期は引き継ぎの時点では論文数が多く、掲載までに長い時は一年を要する状況でした。この間印刷経費に若干の余裕が見込まれる状況がうまれましたので、一号当たりの論文掲載数を増やし、待ち時間を短くするよう努めてきました。その効果があったのか、現在は手持ちの原稿が不足気味になってきています。校閲段階で殆ど問題のない、十分に推敲された論文の場合は、投稿から一号先位には掲載可能な状況が生まれています。

任期中に昆虫学会将来問題検討委員会が設置され、最も緊急の問題の一つとして学会誌問題が取り上げられました。審議過程や方針については今号に異例の長さをとって掲載した通りです。

次年度より英文誌と和文誌の二つが発行されることとなりました。少なくとも来年度は次期編集委員会が両誌の発行に責任をもつことになっていますので、次期編集委員会にはこれまで以上の負担がかかることは明かです。学会誌の発行が学会活動の最も重要なことですので、会員が一致して編集委員会(局)をバックアップする体制が求められていると思います。新学会誌が国際的なジャーナルに発展することを願って編集後記とします。

今期の編集業務にあたっては次に記した会員、非会員の皆様には論文校閲で大変なご協力をいただきました。心より厚く御礼申し上げます。

青木重幸, 秋元信一, 安部琢哉, 安藤喜一, 幾留秀一, 石井 実, 石川良輔, 伊藤文紀, 伊藤嘉昭, 井上民二, 今立源太郎, 岩佐光啓, 上宮英之, 内田臣一, 江本 純, 遠藤知二, 大林延夫, 大原昌宏, 岡沢孝雄, 緒方一夫, 岡田豊日, 奥 俊夫, 小野知洋, 小野正人, 片山栄助, 加藤 真, 金沢 至, 上條一昭, 河合省三, 上宮健吉, 北村實彬, 木元新作, 櫛下町鉦敏, 工藤 巖, 倉橋 弘, 黒佐和義, 黒須詩子, 郷右近勝夫, 小島純一, 小西和彦, 小林裕和, 近藤正樹, 斉藤壽久, 坂上昭一, 桜谷保之, 笹川満廣, 佐々木正巳, 佐々治寛之, 佐藤俊幸, 佐藤正孝, 塩川 信, 志賀正和, 篠永 智, 篠原明彦, 畠 洪, 清水高男, 城田安幸, Bradley J. SINCLAIR, 鈴木邦雄, 諏訪正明, 高家博成, 高木貞夫, 高田肇, 竹田真木生, 竹松葉子, 多田内修, 田中誠二, 冨樫一巳, 友国雅章, 内藤親彦, 直海俊一郎, 中筋房夫, 新妻廣美, 西垣定治郎, 仁田坂英二, 野崎隆夫, 橋本里志, 早川博文, Rett. HARRISON, 東 正剛, 平嶋義弘, 広渡俊哉, 福田弘巳, 藤山静雄, 堀 義宏, 前田泰生, 前藤 薫, 牧野俊一, 松浦 誠, 三中信宏, 宮崎昌久, 宮武頼夫, 桃井節也, 森本桂, 保田淑郎, 安富和男, 安永智秀, 山内克典, 山岸健三, 山崎柄根, 山根爽一, 山本優, 遊鷹正秀, 湯川淳一, 渡辺隆夫, 渡辺泰明

末筆になりましたが、林 正美, 久万田敏夫, 正木進三, 岡島秀治, 大谷 剛, 三枝豊平, 高橋史樹, 上野俊一, 山根正気の各編集委員の皆様、並びに橋本佳明, 沢田佳久, 八木 剛の各編集幹事の皆様には多大の時間と労力を割いていただきました。心から感謝し、御礼申し上げます。次第です。  
(編集委員長 中西明德)